




協 議 調 書

協議項目	22	慣行の取扱い	所 管	合併協議会事務局
------	----	--------	-----	----------

事務事業名	市(町村)章、市(町村)の花・木等	提案年月日	平成16年11月24日(第8回協議会)	確認年月日	
-------	-------------------	-------	---------------------	-------	--

調整方針(案)	<p>【市章・市旗】 ・新市の名称は既に「岩見沢市」に決定しており、また、3市町村の基幹産業は水稻を中心とした農業であることから、これをイメージした現岩見沢市の市章・市旗とする。</p> <p>【市の花・木等】 ・新たな花・木・鳥については、選考方法も含めて新市において検討する。</p> <p>【その他の慣行】として調整した慣行については、それぞれの地域において継承することも含めて、新市において検討する。</p>
---------	--

現 況			課 題
岩 見 沢 市	北 村	栗 沢 町	
<p>【指定時期】</p> <p>市紋章 昭和23年4月 1日制定</p> <p>市旗 昭和43年6月22日議決</p> <p>市木・市花・市鳥 昭和43年5月 5日制定</p> <p>【市紋章】</p> <p>金・銀・緑の3色で彩られ、形は正菱形。形は北海道の輪郭、周囲は銀色のフチで囲んで銀波、その中に稲の穂りを表す金色で米という文字を配し、北海道の中心部に位置することを意味する外、岩見沢市を中心とした四通八達の交通網をあらわし、岩見沢市産業文化の発展を象徴して創られた。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>【市旗】</p> <p>・市旗の規格:縦2に対し横3</p> <p>・地色は緑とし、中心に縦の5分の3に相当する正菱形の市の紋章をかたどった図柄を配する。</p> <p>・開道100年記念事業として、制定された。</p>	<p>【指定時期】</p> <p>村紋章 昭和41年3月10日議決</p> <p>村旗 昭和43年3月25日議決</p> <p>村花・村木 昭和54年9月13日議決</p> <p>【村紋章】</p> <p>簡明直截に北ムラを表すと共に、横三線は石狩川を意味し、かつ、宇宙万物を象徴して天の時と、地の利と、人の和を表現し、全体を円で図案化したのは一村一円の和を表し、円内縦横の区画は農郷北村の米作を象徴化。</p> <p>昭和24年開村50年を記念して、広く村民から募集した応募作品の中から採用され、その後、昭和41年議会議決により正式決定された。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>【村旗】</p> <p>・村旗の規格:縦2に対し横3</p> <p>・縦の14分の10を直径とする村章を中心におく。</p> <p>・地色は紫、村章は北文字を銀、ムラ文字を金とする。</p>	<p>【指定時期】</p> <p>町章 平成 4年6月20日条例制定</p> <p>町旗 平成 4年6月20日条例制定</p> <p>町花・町木 昭和50年6月27日議決</p> <p>【町章】</p> <p>「北斗七星」を町名の「栗」と組合せて図案化。先人の不屈の開拓者精神をたたえ、豊かな大地に光り輝きながら、発展を続ける町の象徴として制定。大正10年山田勢太郎村長が図案化し、広く愛されてきたものを、開基100年を迎えた平成4年に条例制定し、正式決定された。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>【町旗】</p> <p>・町旗の規格:縦2に対し横3</p> <p>・地色は紫とし、星と文字の色は金とする。</p> <p>・町民意識の発揚に資しており、町民のプライドの表徴としている。</p>	<p>・市(町村)章、市(町村)の花・木等については、3市町村ともそれぞれに定めがある。</p> <p>・市章については、新市として一体感を早急に高める必要があることから、合併時までに決定することが望ましい</p>

現 況			課 題
岩 見 沢 市	北 村	栗 沢 町	
<p>【市木・市花・市鳥】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市木として～「こぶし」 ・市花として～「ばら」 ・市鳥として～「はと」 <p>・北海道100年並びに市開基85年を記念して、広く市民から募集した応募作品の中から、それぞれの上位5点を対象に学識経験者6人の審査を経て決定された。</p> <p>・こぶし・ばらは、姿が美しく香りもよく人々に愛される。</p> <p>はとは、誰にも親しまれ、愛らしい。</p> <p>【その他の慣行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土の音曲 「岩見沢市歌」 <p>市制施行を記念して、昭和19年夏頃制定された。</p> <p>「交響詩 岩見沢」</p> <p>開基90年・市制施行30年を記念して、昭和48年に制作され、市の記念行事等で演奏されている。</p> <p>「岩見沢観光音頭」</p> <p>開基90年・市制施行30年を期して、観光PRを積極的に進めるため、夏祭りの観光音頭パレードの曲として、昭和48年に制作された。</p> <p>(歌:都 はるみ)</p>	<p>【村花・村木】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村花として～「あやめ」 ・村木として～「イチイ」 ・村鳥として～なし <p>・開村80年に合わせて、一般住民から募集し、決定された。</p> <p>・あやめは、開拓当初から自生していたゆかりのある花で、種類も豊富で手に入りやすく、花も美しく色も多様であり、最も適している。</p> <p>イチイは、開拓当初から自生していたもので、緑の葉が四季に耐えてよく生育し、秋になる真紅の実子どもにも親しまれ、どのようにも姿を変えられる様は村の将来にも相通ずるものである。</p> <p>【その他の慣行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土の音曲 「北村村歌」 <p>開村50周年(昭和24年)にあわせて制作された。</p> <p>「北村音頭」、「北村小唄」</p> <p>第1回産業振興祭開催(昭和55年)にあわせて制作された。</p>	<p>【町花・町木】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町花として～「さんしきすみれ」 ・町木として～「いちい」 ・町鳥として～なし <p>・町民憲章推進の一環として、「町民憲章推進協議会」の働きかけにより、町民アンケート等慎重な選定の結果、議会議決により制定された。</p> <p>・さんしきすみれは、1～2年生で栽培はたやすく、花壇用又は鉢植えにも適しており、つつましく清楚なイメージが町花としてふさわしい。</p> <p>いちいは、開拓当時から山野に密生しており、先人に幾多の慰めと励ましを与えたと思われ、名のとおり気品が高く、春の新芽の緑は他の樹木に比して一段とさえているうえ、秋には華麗な実をつけ風格を増す。</p> <p>【その他の慣行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土の音曲 「栗沢音頭」、「栗沢小唄」 <p>開基60周年(昭和27年)の記念事業として制作。</p> <p>「新栗沢音頭」、「くりさわ賛歌」</p> <p>開基90周年(昭和57年)の記念事業として制作。</p> <p>「栗沢百年記念音頭」</p> <p>開基100周年(平成4年)の記念事業として制作。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町のマスコット『クリちゃん』 <p>「町内の豊富な森林地帯に生息するエゾリスが町の花を手に抱えている」縫いぐるみ・貯金箱・着ぐるみなどがある。</p> <p>また、キャラクターとして公共機関のトイレ等をはじめ、案内看板や観光パンフレットに利用されており町民に定着している。</p> <p>平成4年の開基100年に向けて、平成2年に公募により、決定した。</p>	